

アゾキシストロビン・TPN水和剤 アミスターオブティフロアブル	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ，エス・ディー・エス
成分： アゾキシストロビン〔ストロビルリン系 PRTR・1種〕…5.1% TPN〔有機塩素系 PRTR・1種〕……………40.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- トマトの葉かび病，きゅうりの褐斑病，メロンのつる枯病に優れた効果を発揮する。
- 殺菌スペクトラムが広いので複数の病害の同時防除が期待できる。
- 作物に汚れが残りにくいフロアブル製剤。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ，よくかき混ぜてから散布する。
- ストレプトマイシン剤及びホセチル剤を混用する場合，必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加える。
- 耐性菌の出現を防ぐため，過度の連用をさけ，なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせ輪番で使用する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので，展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認する。
- 適用外作物（りんご）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説 アミスターの項」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布時は保護クリームを使用する。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 魚類に影響を及ぼすので，使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】 ……………

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシストロビンを含 む農薬の総使用回数	TPNを含む農薬 の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 灰色かび病 菌核病 黒星病	1000倍	100～ 400 ℓ	前日まで	4回以内	散布	4回以内	10回以内 (土壌灌注は2 回以内，散布及 び常温煙霧及び くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計8回以内)
かぼちゃ	うどんこ病 べと病 疫病			7日前まで	3回以内			3回以内
メロン	べと病 うどんこ病 つる枯病 菌核病			3日前まで	4回以内			5回以内

作物名	適用病害名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アゾキシストロピンを 含む農薬の総使用回数	TPNを含む農薬 の総使用回数	
す い か	炭疽病 つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病 菌核病	1000 倍	100～ 400 ℓ	3日前まで	4回以内	散布	4回以内	5回以内	
ト マ ト	疫病 炭疽病 葉かび病 灰色かび病 すすかび病 斑点病			前日まで				6回以内 (土壌灌注は2回 以内、散布及び くん煙及びエア ゾル剤の噴射は 合計4回以内)	
ミニトマト				7日前まで	2回以内		2回以内	2回以内	
な す	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病 灰色かび病			前日まで	4回以内		4回以内	4回以内	
にがうり	うどんこ病				3回以内		3回以内		
はくさい	べと病 白斑病 黒斑病 白さび病			7日前まで	2回以内		4回以内	3回以内 (は種又は定植 前の土壌混和 は1回以内、散 布は2回以内)	
だいこん	白さび病			45日前まで	3回以内		4回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は3回以内)	3回以内	
にんじん	黒葉枯病 斑点病 菌核病 しみ腐病 うどんこ病			21日前まで	2回以内		3回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は2回以内)	5回以内 (種子への吹き 付け処理は1 回以内)	
たまねぎ	灰色かび病 べと病			7日前まで	4回以内		4回以内	6回以内	
ね ぎ	べと病 さび病 黒斑病 黄斑病 葉枯病 小菌核腐敗病			14日前まで	3回以内		5回以内 (粒剤は1回 以内、水和剤 は4回以内)	4回以内 (土壌灌注は 1回以内、散布 は3回以内)	
にんにく	さび病 葉枯病			7日前まで			3回以内	6回以内	
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病 灰色かび病 疫病			前日まで			4回以内 (粒剤は3回 以内)	3回以内	